

令和8年(2025年)9月18日

保護者の皆様

札幌市立百合が原小学校

校長 高畑 均

令和8年度全国学力・学習状況調査における本校の結果について

本調査は令和8年4月23日(木)に6学年児童を対象に行われた調査です。

今回の調査について測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一部ですが、結果を分析し課題を明らかにして改善していくこと、また一人一人に対する学習指導の改善に努めていくことが重要と考えて取り組んでおります。

本校の調査結果の概要は以下の通りです。また、6学年の保護者におかれましては、1学期にお渡しした全国学力・学習状況調査の個人票とも併せて御覧ください。

国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
□国語の「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の平均正答率は、全国平均より下回っている。 ・「話すこと・聞くこと」では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することにおいて、全国平均より下回っている。 ・「書くこと」では、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することにおいて、全国平均より下回っている。 ・「読むこと」では、目的に応じて、必要な情報を見付けることにおいて、全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。 ・半数以上の問題において、無解答率が全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめて記述すること。 ●話や音声に用いられている比喩や反復などの表現上の工夫に気付くこと。 ●動画等の資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ●説明文など、話や文章の種類とそれぞれの特徴について理解すること。 ●配当表に示された漢字を、実際の文の中で正しく表記して用いること。	○条件に合わせた短文記述の学習を継続して行い、白紙で提出しないで必ず書くという習慣を定着させる。 ○教科書の例文を活用し、比喩や反復などの表現技法とその効果を比較して捉えさせる。 ○自分の考えの根拠となる図や表を選び、本文と結び付けて説明する活動を充実させる。 ○説明文や論説文など各文章の構成に着目させ、論の展開や段落の役割を意識させる。 ○単なる暗記ではなく、文脈や意味に合わせた漢字の使い分けを日常的に指導する。

算数

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【数と計算】領域 □どの問題においても全国平均より下回っている。 【図形】領域 □どの問題においても全国平均より下回っている。 【測定】領域 □どの問題においても全国平均より下回っている。 【変化と関係】領域 □どの問題においても全国平均より下回っている。 【データの活用】領域 □全国平均よりも下回っている問題もあるが、全国平均とほぼ同程度であるがやや下回る問題もある。	●異分母分数の大小を比較し理由を記述する力や、小数や概数の基礎的な理解。 ●体積の意味の概念理解や、図形の構成要素に着目して求め方を説明すること。 ●示された情報の関係性に着目し、条件に合う時間を論理的に導き出すこと。 ●基準量を求める割合の計算や、単位量当たりの大きさに関する概念の理解。 ●表からデータを読み取ることや、集計の誤りを数値を用いて記述すること。	○通分や図を用いて大小関係の理由を説明させ、数概念を補強する学習を充実させる。 ○具体物や図を操作する体験を通して体積の意味を捉え、辺や面の要素に着目した立式と記述を行う学習を重ねる。 ○数直線等に情報を整理し、段階的に時間を求める思考を定着させる。 ○関係図や線分図を描き、「もとにする量」を明確にして立式・判断する練習を重ねる。 ○縦横の条件に印を付けて表を読む指導と、数値を示して誤りを指摘する言語化を行う。